

楽しく、地域社会とともに



小学生 jazz バンドを

指揮して 26 年

勝田 新さん (植木リトウル・エコー・アンサンブル 代表)

植木小学校を中心に、玉縄、関谷など各小学校の 4~6 年生で組織するジャズバンドが関心を呼んでいる。毎年定期演奏会は、鎌倉芸術館などをつかって開かれる。平成 23 年は著名なクラリネット奏者である、北村英治さんとのセッションも予定されていたが、大震災の影響で会場が使えず、これは断念した。

高学年とは言え、小学生ながら年間 30 曲余りを演奏。「A 列車で行こう」や「サマータイム」、それにバンドテーマの「リトルロック」など、往年のスタンダードナンバーに、どこの会場でも拍手は鳴りやまない。

「音楽教室ではありません。だから上手な子を集めるわけでもなし、音符を読めない子がいてもいい。コンクールで入賞を目指すのが目標ではないんです。それより、地域とのかかわりあいを深め、人間関係をつちかう。地域に根ざし、皆さんに喜んでもらえる」。それが、この小学生 jazz バンド「植木リトウル・エコー・アンサンブル」の理念ということでもある。

「とにかく楽しくやろうよ、これが第一。それとカッコよく奏でること。いつもこんなノリでやってきました」。創設者である勝田さんは、演奏会での選曲、楽器のチューニング、そして指揮棒を振る。これまでの 26 年間、毎週土曜日には、練習会場である植木小学校へ、欠かさずに足を運んできた。

勝田さんは、鎌倉市立御成小学校の現役教頭先生でもある。昭和 53 年に学校を卒業して教員としてのスタートをきる。中学・理科の教員免許を取得していたが、当時狭き門だった中学校ではなく、意を決して小学校に転ずる。今泉、植木、附属、七里ガ浜、教育センターと教員生活を送り、関谷小学校で教頭を発令され、23 年 4 月から現職につく。

音楽とかかわり合いをもったのは、中学生時代の部活で、クラリネットを吹き始めてから。社会人になって最初の任地だった今泉小学校では、同僚の友人とブラスバンド部を立ち上げるなどした。昭和 60 年に植木小学校に着任する。新設校だったこともあり、二年目から子ども達や保護者らと語り、バンドの結成に向けて動き出す。



ジャズバンドということで、当初は子どもや保護者のなかにも戸惑いもあったりしたが、「バンド名もみんなで考えました。誰からともなく、植木小学校の周りには緑豊かな丘陵地。きっとエコーが返ってくるね。」と、頭にリトウルをつけてバンド名も決まった。創設時からボランティアで楽器を修理・運搬してくれる福島さんや、同校の勤務が長かった小泉マリ先生は、勝田さんとともに、今でも子どもたちの良き相談相手として、バンドをサポートしている。



の活動なのである。

数年前から、音楽に理解のある地域の有力企業がスポンサーになり、支援を受けることも出来るようになった。しかし、基本的には会員の会費で運営される。会費と言ってもおのずと限界があり、新しい楽器にはなかなか手が出せず、26 年前からのものを今でも大事に使っている。30 人の会員、保護者や関係者らの、手弁当

会員 0B の総数はこれまでで 500 人近い。一昨年開いた 25 周年記念パーティーには京都、北海道など各地に散らばった卒業生らが集った。音楽界で名をなすようなプロこそ輩出していないが、音楽への熱い思い、小学生時代につちかった友人らとの深い友情は、いつまでも持ち続ける。

卒業生の子どもがメンバーに

世代は変わり、昨年の会員には初期の植木リトゥル・エコー・アンサンブルの卒業生の子どもが、名を連ねるまで歴史を重ねた。長い年月の中には、クラスの暴れん坊や、内気でおとなしい子ども達もいた。しかし「アンサンブルの練習日には必ず来て、いつしかみんなと明るく楽しく、活動できるようになっていました」。ひとりではない、それがアンサンブルの良さと、勝田さんは目を細める。

年間 16 回もの演奏会をこなす。横浜ジャズプロムナードや Jazz in 鎌倉といった、メジャーな大会にも招かれる。中学生のジャズバンドはあるが、県内はもちろん全国的にも小学生のジャズバンドは珍しく、どこでも注目の的。

「音楽を通じて様々な人たちとの出会い、触れ合いが出来ました。子ども同士のつながりも深く、強いものです」。これこそがバンド結成最大の収穫というわけ。あのカウント・ベイシー楽団とジョイントしたり、当代一流のジャズメン世良譲、前田憲男さんらと組んだりしたことも。存在を知らない子どもたちにしてみれば、両氏は「とっても演奏の上手なおじいちゃん」と屈託ない。勝田さんにしてみれば、冷や汗ものである。

特に喜ばれるのは、地域とのふれあい活動。福祉関係の施設や各種イベント会場は、どこでも引っ張りだこ。毎年開かれる「玉縄まつり」でも演奏が始まると、大勢のファンに囲まれる。24 年の定期演奏会は、鎌倉芸術館を使って 3 月 17 日(土)開催することが決まっている。



◇

昭和 29 年生まれの 57 歳。鎌倉市・台の出身。小坂小学校から大船中学校と鎌倉育ち。大船中学校の生徒だった頃ブラスバンド部に入り、初めて楽器に触れる。演奏会場では「子ども達の方がしっかりもの。ソロで演奏する子どもの名前や、曲名を間違えて子どもから、先生違うよ！と、さとされるような始末」と苦笑い。